



株主のみなさまへ

平成22年3月期中間報告書

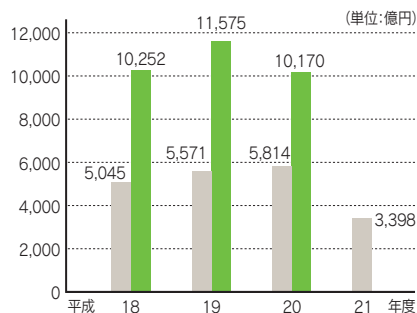
平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



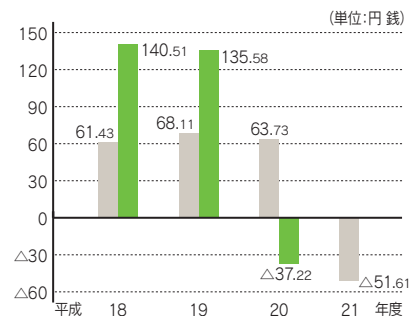
# Consolidated Financial Highlight

## 連結決算ハイライト

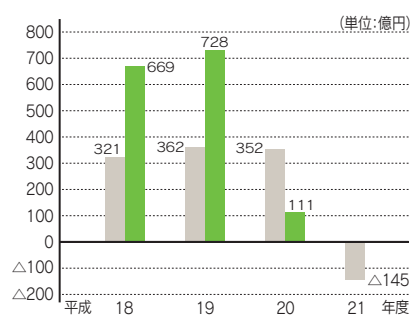
◎連結売上高



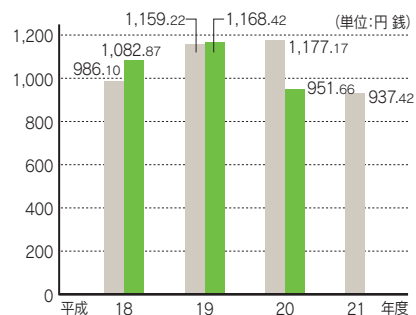
◎1株あたり(当期)純損益



◎連結経常損益



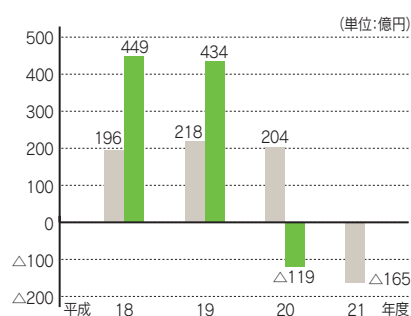
◎1株あたり純資産



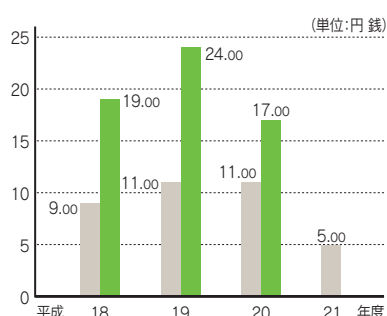
## 目次 Contents

- 連結決算ハイライト ..... 1
- 株主のみなさまへ ..... 2
- 新技術・新商品紹介 ..... 3
- 受賞 ..... 4
- グローバル事業活動 ..... 5-6
- 連結財務諸表 ..... 7
- 単独財務諸表 ..... 8
- 株式の状況/株価の推移 ..... 9
- 会社の概要 ..... 10

◎連結(当期)純損益



◎1株あたり配当金



■ 第2四半期累計期間 ■ 当期

# 株主のみなさまへ



取締役会長 吉田 紘司



取締役社長 横山 元彦

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、昨年後半からの世界的な景気後退の影響を受け、概ね低調に推移いたしました。政府の減税政策等の効果もあり、自動車等の販売が増加するなど、一部に底打ち感もでてまいりました。また、海外におきましても、厳しい状況が続いてはいるものの、中国をはじめとする一部の地域で、景気回復の兆しがみられるようになってまいりました。

このような経営環境の中で、当社グループの平成22年3月期 第2四半期の連結業績は、売上高は3,398億49百万円と前年同期に比べ2,416億8百万円、率にして41.6%の減収となりました。営業損益につきましては、売上高の減少により142億円の損失、経常損益につきましても145億51百万円の損失となりました。また、四半期純損益につきましても、165億73百万円の損失となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、減税政策終了の反動や、機械受注の低迷等、景気の順調な回復はあまり期待できず、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと考えられます。このような中で、当社グループといたしましては原価低減活動の一層の推進、グローバルでの生産体制の再構築等により、厳しい環境に対処してまいり所存であります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

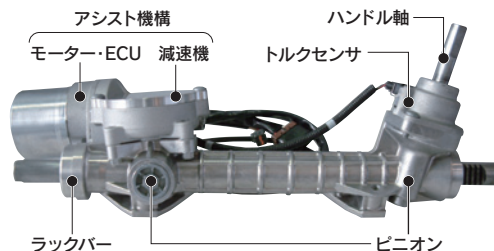
吉田 紘司 横山 元彦

## 新技術・新商品紹介

環境に配慮した自動車部品、工作機械の開発に取り組み、地球にやさしいものづくりを推進しています。

### デュアルピニオン電動パワーステアリング (DP-EPS) を開発

ピニオン式電動パワーステアリング (DP-EPS) は、エンジンルーム内にアシスト機構を配置し、ハンドル軸をアシストするEPSです。当商品は、アシスト機構とハンドル軸を分離したこと、またアシスト機構の配置をラック軸中心とし、ラック軸方向への移動も可能にしたことで、車両への搭載性を向上しました。また、従来品より20%の高出力を実現させました。



### 自動車の燃費効率向上に向けた 低トルク玉軸受の開発

油潤滑玉軸受は、ハイブリッド車用変速機のモータ支持部や、自動変速機 (AT) など各種ギア支持部に多く使用されています。更なる自動車の燃費効率向上が求められる中、開発した低トルク玉軸受は、軸受構成部品の設計諸元を最適化したことにより、回転トルク (回転抵抗) を従来品に比べ40%軽減し、自動車の燃費効率向上に貢献することができる環境にやさしい商品です。



### 世界最速の砥石台自動旋回機能付CNC複合研削盤 「TG4グライディングセンタ」を開発

TG4は、2種の砥石を取り付けた砥石台を自動回転して、複数の円筒の加工対象物を1台で加工する複合研削盤です。当商品は、2台分の工程を1台に集約したことで設備台数の削減や、ワンチャッキングによる加工精度向上を実現しました。また、世界最速の砥石台旋回スピードを達成しました。



## 受賞

ゆるぎない技術、先進的な技術に評価をいただきました。  
今後も技術を進化させる開発に取り組んでまいります。

## 平成21年度全国発明表彰の「発明賞」を受賞

株式会社豊田中央研究所と共同で発明した、当社の電子制御4WDカップリング(ITCC)に使用されている「DLC-Si(シリコン含有ダイヤモンドライクカーボン)被覆電磁クラッチ」が、社団法人発明協会が主催する平成21年度全国発明表彰の「発明賞」を受賞しました。

全国発明表彰は、優れた発明をした人を顕彰することにより発明の奨励を図り、日本の科学技術の向上に寄与することを目的としており、当社として初めての受賞となります。

ITCCは4WD車のリヤディファレンシャル部に搭載される商品です。本技術は、ITCCに用いるDLC-Si被覆電磁クラッチが、軽量・コンパクト性を確保しながら従来品に比べクラッチの耐久性を8倍まで向上させたことが評価されました。

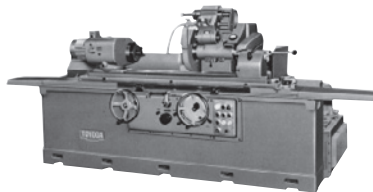


## 「ロングライフ・ベストセラー賞」を受賞

「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会」(日本工業大学工業技術博物館、同後援会主催)から、当社の油圧式円筒研削盤 LGシリーズ(G28形、G15形、G30形)が第11回「ロングライフ・ベストセラー賞」を受賞しました。

「歴史的価値のある工作機械の顕彰」は、わが国産業の発展に貢献し技術面で一時代を画した工作機械や長年にわたるベストセラーに贈られる賞です。

今回受賞したLGシリーズは、独自開発の砥石軸受の採用や、世界初の研削盤組立コンベアラインでの生産などを特色とする多品種少量生産対応の高精度汎用円筒研削盤です。1965年の生産開始から同じシリーズの油圧式後継機を含め、現在までに約8,000台を販売しております。



## 「2008年度日本トライボロジー学会技術賞」を受賞

社団法人日本トライボロジー学会から、当社技術者4名が環境対応型研削加工技術の開発(EcoLoG〈エコロジー〉研削TYPE II)で「2008年度日本トライボロジー学会技術賞」を受賞しました。本賞は、トライボロジーに関する実用化技術で、品質・性能などの優秀さが認められ、今後の社会貢献が期待できる業績に対して贈られるものです。本技術は、クーラント使用量の削減により、生産現場において省エネルギーで、環境に大きな貢献が期待できることが評価されました。



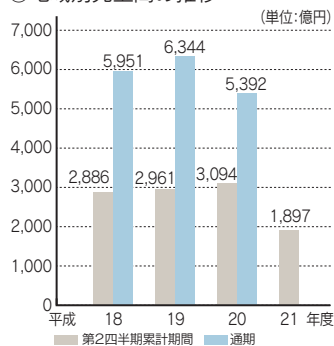
# グローバル事業活動

## 日本

### 拠点数 計44拠点

|             |    |
|-------------|----|
| 本社          | 2  |
| 研究開発        | 3  |
| 営業本部        | 1  |
| 事業本部        | 3  |
| テクニカルセンター   | 5  |
| ステアリング製造    | 3  |
| ベアリング製造     | 5  |
| 駆動部品製造      | 2  |
| 工作機械・メカトロ製造 | 2  |
| 販売・サービス     | 18 |

◎地域別売上高の推移

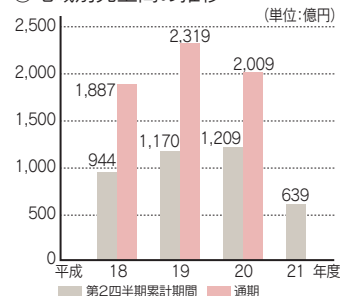


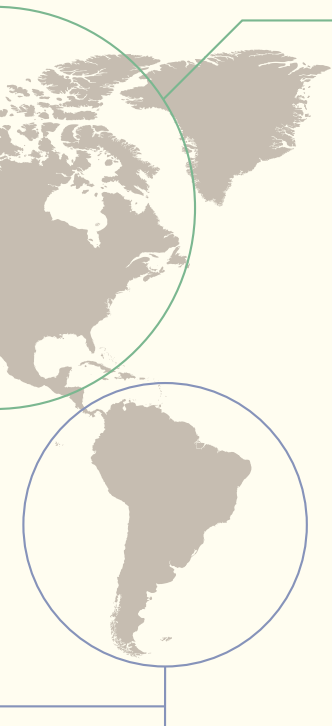
## 欧州

### 拠点数 計22拠点

|           |   |
|-----------|---|
| 地域統括      | 3 |
| テクニカルセンター | 2 |
| ステアリング製造  | 5 |
| ベアリング製造   | 2 |
| 駆動部品製造    | 2 |
| 販売・サービス   | 8 |

◎地域別売上高の推移



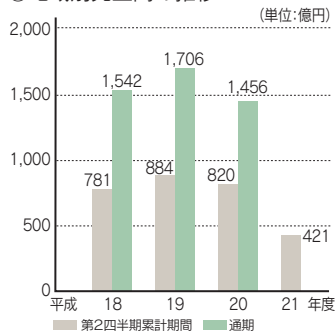


## 北米

### 拠点数 計13拠点

|           |   |
|-----------|---|
| 地域統括      | 1 |
| テクニカルセンター | 2 |
| ステアリング製造  | 4 |
| ベアリング製造   | 1 |
| 駆動部品製造    | 1 |
| 販売・サービス   | 4 |

◎地域別売上高の推移

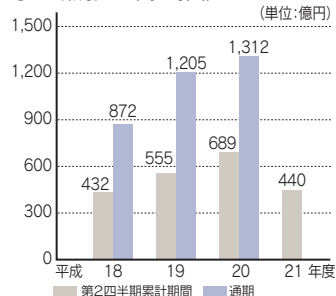


## アジア・オセアニア・その他

### 拠点数 計37拠点

|           |    |
|-----------|----|
| 地域統括      | 2  |
| テクニカルセンター | 2  |
| ステアリング製造  | 10 |
| ベアリング製造   | 8  |
| 駆動部品製造    | 1  |
| 工作機械製造    | 2  |
| 販売・サービス   | 12 |

◎地域別売上高の推移



ティムケン社の  
ニードル軸受事業を買収  
世界No.1の  
技術力・提案力を  
有する企業を目指して

米国軸受製造大手のティムケン社から同社のニードル軸受事業を取得するための売買契約を締結いたしました。

今回の買収を通して、以前から最優先課題となっていたニードル軸受の強化が実現され、また、世界中の顧客のさまざまなニーズへの的確な対応が可能になると考えております。

高品質のニードル軸受は、低燃費・低排ガス車の需要増大により、大きな成長が見込まれています。さらに、サプライチェーンの統合によるシナジー効果や、産業用機器、工作機械向け用途においても安定的な成長が期待されています。

#### ■ティムケン社の概要

- ①名称/The Timken Company
- ②事業内容/フリクション・マネジメントおよび  
パワートランス・ミッション・ソリューション
- ③設立年/1899年

#### ■ニードル軸受事業の概要

ティムケン社のニードル軸受事業は、世界2位のシェアを誇っており、2008年の売上高は約621百万米ドルです。

- 生産拠点:12カ所  
(米国、ドイツ、フランス、チェコ、中国、カナダ、スペイン)
- 開発拠点:3カ所(米国、ドイツ、チェコ)

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末

(平成21年9月30日現在)

| 科目              | 金額             |
|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>415,659</b> |
| 現金及び預金          | 49,568         |
| 受取手形及び売掛金       | 151,997        |
| 有価証券            | 63,830         |
| 棚卸資産            | 119,472        |
| その他             | 31,610         |
| 貸倒引当金           | △ 819          |
| <b>固定資産</b>     | <b>414,825</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>321,700</b> |
| 機械装置及び運搬具       | 158,661        |
| その他             | 163,038        |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>5,300</b>   |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>87,824</b>  |
|                 |                |
|                 |                |
|                 |                |
| <b>資産合計</b>     | <b>830,484</b> |

(単位 百万円)

| 科目               | 金額             |
|------------------|----------------|
| <b>負債の部</b>      |                |
| <b>流動負債</b>      | <b>358,455</b> |
| 支払手形及び買掛金        | 127,229        |
| 短期借入金            | 115,987        |
| その他              | 115,238        |
| <b>固定負債</b>      | <b>152,694</b> |
| 長期借入金            | 86,952         |
| その他              | 65,742         |
| <b>負債合計</b>      | <b>511,150</b> |
| <b>純資産の部</b>     |                |
| <b>株主資本</b>      | <b>316,438</b> |
| 資本金              | 36,879         |
| 資本剰余金            | 99,525         |
| 利益剰余金            | 180,407        |
| 自己株式             | △ 374          |
| <b>評価・換算差額等</b>  | <b>△15,395</b> |
| その他有価証券評価差額金     | 9,554          |
| 為替換算調整勘定         | △ 24,949       |
| <b>少数株主持分</b>    | <b>18,291</b>  |
| <b>純資産合計</b>     | <b>319,334</b> |
| <b>負債及び純資産合計</b> | <b>830,484</b> |

## 連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位 百万円)

| 科目                  | 金額             |
|---------------------|----------------|
| <b>売上高</b>          | <b>339,849</b> |
| 売上原価                | 310,668        |
| <b>売上総利益</b>        | <b>29,180</b>  |
| 販売費及び一般管理費          | 43,380         |
| <b>営業損失</b>         | <b>14,200</b>  |
| 営業外収益               | 2,625          |
| 営業外費用               | 2,976          |
| <b>経常損失</b>         | <b>14,551</b>  |
| 特別利益                | 1,502          |
| 特別損失                | 3,459          |
| <b>税金等調整前四半期純損失</b> | <b>16,508</b>  |
| 法人税等                | 756            |
| 少数株主損失              | 691            |
| <b>四半期純損失</b>       | <b>16,573</b>  |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 単独財務諸表

## 貸借対照表

当第2四半期会計期間末

(平成21年9月30日現在)

| 科目               | 金額             |
|------------------|----------------|
| <b>資産の部</b>      |                |
| 流動資産             | 248,712        |
| 固定資産             | 373,233        |
| 有形固定資産           | 157,767        |
| 無形固定資産           | 3,579          |
| 投資その他の資産         | 211,886        |
| <b>資産合計</b>      | <b>621,945</b> |
| <b>負債の部</b>      |                |
| 流動負債             | 246,376        |
| 固定負債             | 106,145        |
| <b>負債合計</b>      | <b>352,522</b> |
| <b>純資産の部</b>     |                |
| 株主資本             | 260,462        |
| 資本金              | 36,879         |
| 資本剰余金            | 99,518         |
| 利益剰余金            | 124,400        |
| 自己株式             | △ 335          |
| 評価・換算差額等         | 8,961          |
| その他有価証券評価差額金     | 8,961          |
| <b>純資産合計</b>     | <b>269,423</b> |
| <b>負債及び純資産合計</b> | <b>621,945</b> |

## 損益計算書

当第2四半期累計期間

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

| 科目               | 金額             |
|------------------|----------------|
| <b>売上高</b>       | <b>209,932</b> |
| 売上原価             | 200,734        |
| <b>売上総利益</b>     | <b>9,197</b>   |
| 販売費及び一般管理費       | 19,123         |
| <b>営業損失</b>      | <b>9,926</b>   |
| 営業外収益            | 7,815          |
| 営業外費用            | 1,752          |
| <b>経常損失</b>      | <b>3,863</b>   |
| 特別利益             | 1,183          |
| 特別損失             | 1,081          |
| <b>税引前四半期純損失</b> | <b>3,761</b>   |
| 法人税等             | △ 3,223        |
| <b>四半期純損失</b>    | <b>537</b>     |

### 中間配当金について

平成21年11月4日開催の当社取締役会において、平成21年9月30日最終の株主名簿に記録された株主もしくは登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払うことを決議いたしました。

1. 中間配当金 1株につき5円
2. 効力発生日および支払開始日 平成21年11月27日

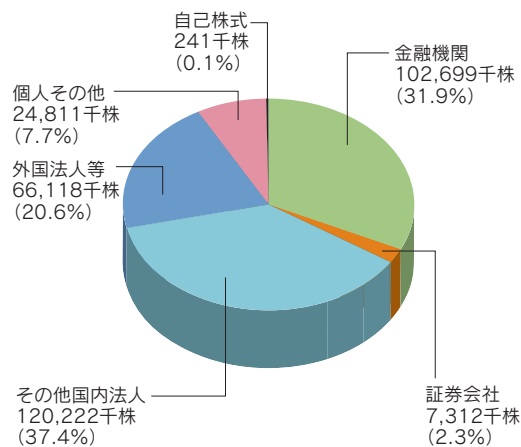
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

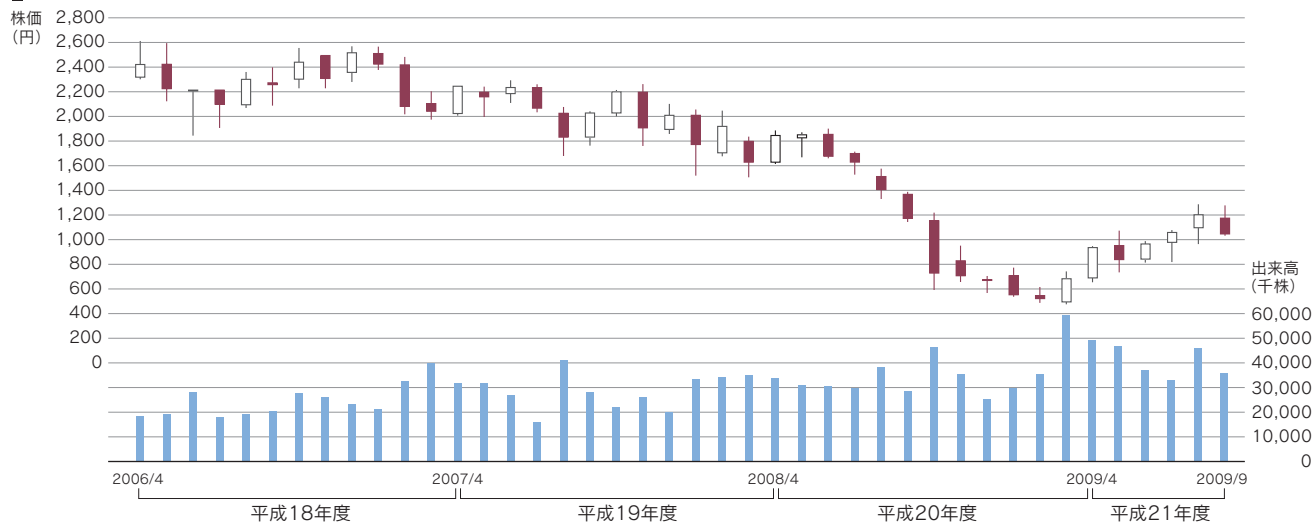
- 1. 株式の総数 発行可能株式総数 1,200,000千株  
発行済株式の総数 321,406千株
- 2. 株主数 21,472名
- 3. 大株主(上位10名)

| 株主名                                       | 持株数(千株) |
|---|---------|
| トヨタ自動車株式会社                                | 72,435  |
| 株式会社デンソー                                  | 17,611  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                   | 15,663  |
| 日本生命保険相互会社                                | 12,361  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                 | 11,929  |
| 株式会社豊田自動織機                                | 7,493   |
| 株式会社りそな銀行                                 | 6,749   |
| 住友信託銀行株式会社                                | 6,729   |
| NORTHERN TRUST CO. AVFC RE FIDELITY FUNDS | 6,626   |
| 株式会社三井住友銀行                                | 6,366   |

- 4. 所有者別分布状況  
(発行済株式の総数に対する割合)



## 株価の推移



# 会社の概要

|        |   |      |  |
|--------|---|------|--|
| 商号(社名) | 株式会社ジェイテクト<br>JTEKT CORPORATION                 | 資本金  | 36,879百万円(平成21年9月30日現在)                                |
| 本店所在地  | 大阪市中央区南船場三丁目5番8号                                | 売上高  | 339,849百万円<br>(平成22年3月期第2四半期累計期間(連結))                  |
| 本社所在地  | 名古屋本社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号<br>大阪本社 大阪市中央区南船場三丁目5番8号 |      | 209,932百万円<br>(平成22年3月期第2四半期累計期間(単独))                  |
| 電話番号   | 名古屋本社 052-527-1900<br>大阪本社 06-6271-8451         | 従業員数 | 32,506名(平成21年9月30日現在(連結))<br>10,309名(平成21年9月30日現在(単独)) |

## 取締役及び監査役 (平成21年9月30日現在)

|        |       |       |        |       |      |   |
|--------|-------|-------|--------|-------|------|---|
| 取締役会長  | 吉田 紘司 | 専務取締役 | 伊藤 寛   | 常勤監査役 | 榎本 真 | 文 |
| 取締役社長  | 横山 元彦 | 専務取締役 | 米田 孝夫  | 常勤監査役 | 藤井 紘 | 博 |
| 取締役副社長 | 井川 正治 | 常務取締役 | 島谷 均   | 監査役   | 深谷 美 | 一 |
| 取締役副社長 | 長井 正和 | 常務取締役 | 大道 俊彦  | 監査役   | 新美 正 | 志 |
| 専務取締役  | 久田 修義 | 取締役   | 内山田 竹志 | 監査役   | 小林 正 | 明 |
| 専務取締役  | 乾 徹雄  |       |        |       |      |   |
| 専務取締役  | 鈴木 隆昭 |       |        |       |      |   |

## 執行役員 (平成21年9月30日現在)

|        |       |      |       |      |       |
|--------|-------|------|-------|------|-------|
| 常務執行役員 | 井坂 雅一 | 執行役員 | 村瀬 昇也 | 執行役員 | 辻 義央  |
| 常務執行役員 | 桑原 英雄 | 執行役員 | 仲村 元靖 | 執行役員 | 荒木 恵司 |
| 執行役員   | 廣川 利夫 | 執行役員 | 中野 史雄 |      |       |
| 執行役員   | 貝嶋 博幸 | 執行役員 | 堀内 介東 |      |       |
| 執行役員   | 角井 隆一 | 執行役員 | 新井 裕和 |      |       |
| 執行役員   | 酒井 祥夫 | 執行役員 | 高橋 一樹 |      |       |
| 執行役員   | 北谷 富造 | 執行役員 | 瀧上 正樹 |      |       |
| 執行役員   | 中村 昌久 | 執行役員 | 植竹 伸二 |      |       |
| 執行役員   | 松本 久宏 | 執行役員 | 宮 崎 博 |      |       |
| 執行役員   | 入谷 清  |      |       |      |       |

---

## 株主メモ

|         |   |                            |   |
|---------|---|----------------------------|---|
| 事業年度    | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   | 株主名簿管理人 および<br>特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社  |
| 定時株主総会  | 6月  | 株主名簿管理人<br>事務取扱場所          | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 株主確定基準日 | (1)定時株主総会・期末配当金 3月31日<br>(2)中間配当金 9月30日<br>その他必要のあるときは、あらかじめ公告<br>して基準日を定めます。   | (郵便物送付先)                   | 〒183-8701<br>東京都府中市日鋼町1番10<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 公告の方法   | 当社のホームページに掲載いたします。<br><a href="http://www.jtekt.co.jp/ir/notification_h.html">http://www.jtekt.co.jp/ir/notification_h.html</a> | (電話照会先)                    | ☎0120-176-417   |
| 上場証券取引所 | 東京、大阪、名古屋   | (インターネットホームページURL)         | <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a> |

---

## お知らせ

【住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受取方法のご指定等のお届出およびご照会について】

- 株券電子化前に、証券会社等に口座をお持ちでなく、特別口座が開設された株主様  
上記の特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 証券会社等に口座をお持ちである株主様  
お取引先の証券会社等にお申出ください。

【未払配当金のお届出およびご照会について】

上記の株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお申出ください。

---



<http://www.jtekt.co.jp>



この報告書は、環境に優しい大豆油  
インキを使用して印刷しています。